

授業科目名	基礎経済数学		
科目番号	BB41101	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月・水 6
担当教員	福住 多一		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	経済学への応用例を交えつつ、高校レベルから段階的に数学の理解を深めます。学部での初級~中級レベルの経済理論を学ぶために必要な数学を身につけましょう。		
授業の進行予定	(1)1 次関数と市場メカニズム (2)2 次関数と独占・寡占市場 (3) 指数・対数と金利 (4) 指数・対数と金利 (5) 数列と貯蓄 (6)1 変数の微分と利潤最大化 (7)1 変数の微分と利潤最大化 (8) ベクトルと予算制約 (9) ベクトルと予算制約 (10) 多変数の微分と効用最大化 (11) 多変数の微分と支出最小化 計算力の補強のために、計算練習の補講を予定しています。		
単位取得要件	試験		
授業外の予習復習方法			
教材等	テキストは指定しませんが、講義内容は概ね下記の本に沿っています。 参考書として持っておくと大変有益でしょう。 1. 経済セミナー増刊 『改訂版 経済学で出る数学－高校数学からきちんと攻める』 日本評論社 2013 年出版		
オフィスアワー	講義中に指示します。		
学生への要望	・数学は試験の直前に勉強をするだけでは力がつかないので注意しましょう。 ・数学に苦手意識を持っている人も、この機会を利用して数学を用いる経済学に慣れて欲しいと思います。		

授業科目名	ミクロ経済学		
科目番号	BB41131	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 火 3,4
担当教員	篠塚 友一		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	ミクロ経済学の基礎概念を理解し、経済現象をミクロ経済学の視点から理解できるようにする。		
授業の進行予定	第 1 回ミクロ経済学とは何か 第 2 回消費者行動の理論:基礎編 第 3 回消費者行動の理論:応用編 第 4 回生産者行動の理論:基礎編 第 5 回生産者行動の理論:応用編 第 6 回完全競争市場の部分均衡分析 第 7 回交換経済における完全競争均衡 第 8 回生産経済における完全競争均衡 第 9 回交換経済における厚生経済学の基本定理 第 10 回生産経済における厚生経済学の基本定理		
単位取得要件	成績評価は, 中間試験 50%, 期末試験 50%		
授業外の予習復習方法	教科書を読み、判らなかつた部分をオフィスアワーの時に質問する。配布された練習問題を解くこと。		
教材等	【教科書】入谷純・篠塚友一『ミクロ経済学講義』日本経済新聞社		
オフィスアワー	随時受け付ける。		
学生への要望	大学 1 年生レベルの微積分の予備知識があること。「経済数学」は履修済みであること。		

授業科目名	公共経済学		
科目番号	BB41271	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 火 4,5
担当教員	仲 重人		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	この講義では、公共経済学の基本的な知識と技法を学びます。市場における効率的資源配分概念を基礎に、市場の失敗の議論を理解するために、公共財、外部不経済等といった伝統的な議論を学び、さらに、情報の非対称性がもたらす市場の失敗の議論を学びます。そして、投票制度や政治競争の分析を踏まえ、政府の失敗の議論も学びます。		
授業の進行予定	1. 市場における効率的資源配分 2. 公共財供給の問題 3. 外部不経済の問題 4. 情報の非対称性がもたらす問題 5. 投票制度の問題 6. 政治競争の問題 ・公共経済学について概説し市場における効率的資源配分の議論を始めます。		
単位取得要件	原則的に 2 回の試験と複数の宿題の点数によって単位取得の有無が決まります。		
授業外の予習復習方法	予め指定した教材や資料をきちんと読み、理解しているかどうか練習問題や宿題などで確認すること。		
教材等			
オフィスアワー	適時アポイントメントにより設定します。		
学生への要望	ミクロ経済学あるいは初級レベルのミクロ経済学を履修しておいてください。		

授業科目名	産業組織論		
科目番号	BB41281	単位数	2.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 AB 火 3,4
担当教員	篠塚 友一		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	「企業と市場の経済学」について講義する。ミクロ理論とゲーム理論の分析用具を用いて、産業内の諸企業の間関係を考察する。		
授業の進行予定	第 1 回産業組織論とは何か 第 2 回独占の理論 第 3 回独占の規制 第 4 回独占的競争 第 5 回寡占理論 第 6 回共謀 第 7 回市場構造と市場支配力 第 8 回価格差別 第 9 回垂直関係 第 10 回生産物の差別化		
単位取得要件	成績評価はレポートと期末試験による。		
授業外の予習復習方法	配布された論文を読んで判らなかったことをオフィスアワーの時に質問する。配布された演習問題を解き、判らなかったことをオフィスアワーの時に質問する。		
教材等	教科書は使用しない。以下の書物を参考文献として利用する。Luis M.B.Cabral, Introduction to Industrial Organization, The MIT Press. Joel Watson, Strategy, Norton. Martin J. Osborne, An Introduction to Game Theory, Oxford University Press. 奥野正寛・鈴木興太郎『ミクロ経済学 I,II』		
オフィスアワー	随時受け付ける。		
学生への要望	大学 1 年生レベルの微積分と中級レベルのミクロ経済学を履修済みであること。		

授業科目名	経済数学		
科目番号	BB41301	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1 - 4 年次	時間割	秋 AB 火 5,6
担当教員	福住 多一		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	<p>経済理論・ゲーム理論を正確に理解するために必要な数学基礎力をトレーニングする。 論理と集合の本、実数・線形空間・距離空間の概念を理解する。 時間に余裕があれば、最適化理論の基礎知識を身につける。</p>		
授業の進行予定	<p>下記教材にそって以下を講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習のための準備 (論理と集合) (2) 線形空間 (3) 位相空間 (4) 連続関数 (5) 微分可能関数 		
単位取得要件	試験 (履修者数によっては小テスト)		
授業外の予習復習方法			
教材等	1. 永谷裕昭 『経済数学』 有斐閣		
オフィスアワー			
学生への要望	「基礎経済数学」を履修してから、この講義を履修するのが望ましい。		

授業科目名	経済思想史 I		
科目番号	BB41321	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 金 4,5
担当教員	平山 朝治		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	古典派・新古典派の経済思想の特色を、その宗教的・哲学的背景をふまえて理解すること、それを通じて西洋中心主義を超えた人類史的見地から経済思想を考えることを目標とする。		
授業の進行予定	以下の項目を順次取り上げる予定です。諸学説の歴史的配置 利己心と徳と救済 自然法と歴史 功利主義と限界効用		
単位取得要件	出席と期末試験を重視する。		
授業外の予習復習方法	参考文献リストを授業中に別途配布するので、それを利用して自主的に予習・復習を行ってください。		
教材等			
オフィスアワー	授業終了後または予約		
学生への要望	教えられたことを鵜呑みにせず自分で考える習慣をつけてほしい。		

授業科目名	経済思想史 II		
科目番号	BB41331	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 金 4,5
担当教員	平山 朝治		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	経済思想史 I の内容をふまえて、社会経済の動態を長期的視野からとらえる経済思想・理論に関する理解を深めることを目標とする。		
授業の進行予定	以下の項目を順次取り上げる予定です。選択理論と新厚生経済学 理性の変遷 無意識・限定合理性と言語ゲーム 自生的秩序/カリスマ、中心/周縁 文明化 近代諸文明 脱近代		
単位取得要件	出席と期末試験を重視する。		
授業外の予習復習方法	参考文献リストを授業中に別途配布するので、それを利用して自主的に予習・復習を行ってください。		
教材等			
オフィスアワー	授業終了後または予約		
学生への要望	教えられたことを鵜呑みにせず自分で考える習慣をつけてほしい。		

授業科目名	計量経済学		
科目番号	BB41341	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 水 1,2
担当教員	浅野 哲		
授業形態	講義		
授業の目標と概要			
授業の進行予定	第 1 週 計量経済学とは何か、応用例 第 2 週 統計学、線形代数の基礎 (期待値、分散、共分散、ベクトル、行列等) 第 3 週 2 変数回帰モデル、2 変数回帰モデルにおける最小二乗法、決定係数 第 4 週 関数形の選択、推定量の統計的性質、仮説検定 第 5 週 Z 検定、t 検定、ガウス・マルコフ定理 第 6 週 中間テスト 第 7 週 回帰の錯誤、K 変数回帰モデル 第 8 週 推定値の統計的性質、K 変数回帰モデルの応用例 1 第 9 週 K 変数回帰モデルの応用例 2、 第 10 週 多重共線性、想定誤り		
単位取得要件	中間試験と期末試験の結果による。		
授業外の予習復習方法			
教材等	1. 浅野哲・中村二郎「計量経済学 (第 2 版)」有斐閣 2009		
オフィスアワー			
学生への要望	計量経済学では学類基礎科目 (線形代数、統計、微積) および経済学基礎 (ミクロ、マクロ) の知識を前提として、経済データの統計的分析方法を講義します。基礎を十分復習して授業に臨んでください。		

授業科目名	日本経済論		
科目番号	BB41361	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 火 2,3
担当教員	平沢 照雄		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	日本経済の現状について (1) 企業経営の改革および (2) 情報化・知識経済化の進展といった側面に注目しつつ明らかにする。		
授業の進行予定	(1) 大企業における経営改革の展開、(2) 中小企業における経営改革の展開、(3) 情報化・知識経済化の進展と日本経済の順に授業を進める予定。		
単位取得要件	授業に関するミニレポートと学期末の筆記試験により総合的に評価する。		
授業外の予習復習方法	復習の際には特に授業で出てきた専門用語 (テクニカルターム) について再確認する。ミニレポート作成に際しては図書館やネットなどでプラスアルファの情報を独自に収集し積極的に取り組むことを通じて理解を深める。また授業で言及した小説、映画、ドラマや新聞・雑誌記事などについて、授業時間外に手にとってみたり視聴することも理解を深める一助となる。		
教材等	参考文献、関連する小説や新聞記事などに関してはそのつど紹介する。授業内容に関連した DVD 教材も積極的に利用することにしたい。		
オフィスアワー			
学生への要望	授業の第 1 回~3 回目の冒頭で授業の進行方法および履修等に関する留意事項を提示および確認し、それらを前提として以後の授業を進めて行くので、少なくともどれかには必ず出席すること。第 1 回~3 回目の授業全てに欠席した場合には、以後の授業への参加は認めない。なお受講希望者が多数に達した場合には社会学類生の履修を最優先とし、それ以外の学生の受講を制限する場合がある。		

授業科目名	ヨーロッパ社会経済史		
科目番号	BB41371	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 木 2,3
担当教員	田中 洋子		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	ヨーロッパ、特にその経済的な中心をなしているドイツを対象とし、工業化に伴う社会や生活の変化-工場生産と賃金労働の発展、農業や自営業の縮小や変質、女性の役割分担の変化や学歴・労働の変容、環境問題の発生と対処、人々のつながり方・組織の変化など-についての理解を深める。それと同時に、こうした変化がいかに、現在の私たちの生活と関連しているかについて、認識を深める。		
授業の進行予定	授業ではテーマ別のグループ分けを行い、各グループごとに文献の一部を担当し、授業でグループごとに報告していく形をとる。第一回めの授業でグループ分けと次週の報告者を決めるので、出席すること。課題文献は、マスターコピーを TA の人から受け取って、各自でコピーしておくか、各自購入する。報告は、グループごとにまとめてレジュメをコピー・配布して行う。パワーポイントを使用してもよいが、その場合もファイルを印刷して配布すること。担当グループの報告が終わったのち、講義による説明を加え、その後ディスカッションを行う。 第 1 回オリエンテーションとして、授業内容の説明を行うとともに、グループ分けと次週の報告者の決定を行う。 段位・成績は、期末レポート (6 割)+ 報告 (1 割)+ 出席点 (3 割) の総合で行う。うただし、原則として 3 分の 2 以上の出席が必要。		
単位取得要件	段位・成績は、期末レポート (6 割)+ 報告 (1 割)+ 出席点 (3 割) の総合で行う。ただし、原則として 3 分の 2 以上の出席が必要。		
授業外の予習復習方法			
教材等			
オフィスアワー	相談については、メールしてアポイントメントをとってください。 授業スケジュールなどの問い合わせについては、TA に連絡すること。		
学生への要望			

授業科目名	比較経済論		
科目番号	BB41381	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 木 3,4
担当教員	田中 洋子		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	This course provides an overview on the global economic development in the industrialization and its impact on the society, on the way of life of the people. We will pick up some commodities and products, on which we depend our daily life. Students will form several research groups to study about one product, and make presentations in the class.		
授業の進行予定	第 1 回 We'll decide which commodity we would deal with, and make some research groups for each commodity. The participants should take part in this process and join in one group, for research, presentation, and report.		
単位取得要件	Participation to the class(60% minimum), presentation of the research, the final report		
授業外の子習復習方法			
教材等			
オフィスアワー			
学生への要望			

授業科目名	日本経済史		
科目番号	BB41391	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 C 火・木 2,3
担当教員	平沢 照雄		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	経済が歴史的に大変動するなかで、(1) 経済社会安定のためにどのような仕組みが形成されたのか、(2) その限界はどこにあったのかについて検討することで、今日の経済社会問題を歴史的に考えるうえで必要な知識の修得を目標とする。		
授業の進行予定	(1) 現代の市場経済とセイフティーネット、(2) 経済規制の日米比較、(3) 労働条件規制と産業協力の3つを主なテーマとし、この順に授業を進める予定。		
単位取得要件	授業に関するミニレポートと学期末の筆記試験により総合的に評価する。		
授業外の予習復習方法	復習の際には特に授業で出てきた専門用語(テクニカルターム)について再確認する。ミニレポート作成に際しては図書館やネットなどでプラスアルファの情報を独自に収集し積極的に取り組むことを通じて理解を深める。また授業で言及した小説、映画、ドラマや新聞・雑誌記事などについて、授業時間外に手にとってみたり視聴することも理解を深める一助となる。		
教材等	参考文献:平沢照雄『大恐慌期日本の経済統制』日本経済評論社。その他の参考文献、関連する小説や新聞記事などに関してはそのつど紹介する。授業に関連したDVD教材も利用する予定である。		
オフィスアワー			
学生への要望	授業の第1回~3回目の冒頭で授業の進行方法および履修等に関する留意事項を提示および確認し、それらを前提として以後の授業を進めて行くので、少なくともどれかには必ず出席すること。第1回~3回目の授業全てに欠席した場合には、以後の授業への参加は認めない。なお受講希望者が多数に達した場合には社会学類生の履修を最優先とし、それ以外の学生の受講を制限する場合がある。		

授業科目名	開発途上国における諸問題		
科目番号	BB41401	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 金 3,4
担当教員	中野 優子		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	<p>1. To understand the contemporary and important economic and social issues in developing countries by reading non-technical journal articles and book chapters.</p> <p>2. To be familiarized with data analyses by using statistical software (STATA).</p> <p>3. To understand the importance of empirical evidence in designing policies and understanding issues in developing countries.</p>		
授業の進行予定	<p>1. Introduction: What is development economics?</p> <p>2. Economic growth</p> <p>3. Poverty and inequality</p> <p>4. Agriculture development</p> <p>5. Human capital development</p> <p>6. Credit access and property rights</p> <p>7. Foreign aid and impact evaluation</p> <p>8. Governance and political stability</p> <p>* Please note that the topics to be covered are subject to change.</p>		
単位取得要件	Midterm 50%, Final (or term paper): 50%.		
授業外の予習復習方法			
教材等	Students will receive detailed syllabus including the reading lists in the first lecture.		
オフィスアワー			
学生への要望			

授業科目名	地域経済論		
科目番号	BB41411	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 火 2,3
担当教員	平沢 照雄		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	地域経済の歴史と現状について検討する。特に産業集積に着目し、それをいくつかのタイプに分類したうえで、それぞれの特徴を明らかにする。さらにグローバル化が進むなかでの地域経済の再生・活性化について考える。		
授業の進行予定	(1) 日本経済の発展と地域経済、(2) 産業集積の分類と地域経済、(3) 経済のグローバル化と地域経済の活性化を主なテーマとし、この順に授業を進めてゆく予定である。		
単位取得要件	授業に関するミニレポートと学期末の筆記試験により総合的に評価する。		
授業外の予習復習方法	復習の際には特に授業で出てきた専門用語 (テクニカルターム) について再確認することを希望する。また、授業で取り上げた事例と類似の事例の情報を自分で集めたり、これらに関連した文献を参考にするなどの方法によって理解を深めることを期待する。		
教材等	参考文献に関してはそのつど紹介する。授業に関連した DVD 教材も、積極的に活用する予定である。		
オフィスアワー			
学生への要望	授業の第 1 回目と 2 回目の冒頭で授業の進行方法および履修等に関する留意事項を提示し、それらを前提として以後の授業を進めて行くので、少なくともどちらかには必ず出席してください。		

授業科目名	開発経済学		
科目番号	BB41421	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 火 5,6
担当教員	箕輪 真理		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	The course will discuss key concepts and issues of economic development. By the end of the course, the students are expected to have better understanding of the challenges and opportunities faced by developing countries, and be able to critically assess sometimes-conflicting views and evidence on the process of development.		
授業の進行予定	<p>Topics to be covered: (1) Economic growth and development; (2) Inequality and poverty; (3) Education and development; (4) Foreign aid, foreign debt and financial crises; (5) Trade and development; (6) Sustainable development</p> <p>第 1 回 Introduction</p> <p>第 2 回 Economic growth and development</p> <p>第 3 回 Theories of economic growth</p> <p>第 4 回 Role of the market and the state in development</p> <p>第 5 回 Poverty and inequality</p> <p>第 6 回 Human capital, particularly education and development</p> <p>第 7 回 Fiscal policy</p> <p>第 8 回 Foreign aid, foreign debt, and financial crises</p> <p>第 9 回 Trade and development</p> <p>第 10 回 Sustainable development and developing countries The lecture will be in English, but students may participate in the questions and discussion either in English or in Japanese. Active participation in the class discussion is encouraged.</p>		
単位取得要件	Final take-home examination.		
授業外の予習復習方法	Students are expected to read the respective chapters of the textbook in advance of the class.		
教材等	Main Textbook: Perkins, et. al., Economics of Development, 6th Edition, WW.Norton & Co., 2006		
オフィスアワー	メールにてアポイント。随時。 minowa.mari.ge at u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望			

授業科目名	都市経済学		
科目番号	BB41441	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 C 月・木 1,2
担当教員	太田 充		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	都市においてどのように経済活動が営まれ、その結果どういった問題が生じ、それ対処するにはどのような政策が有効かを研究する、都市経済学について学ぶ。		
授業の進行予定	第 1 回都市経済学とは 第 2 回都市経済学が通常の経済学と異なる点 第 3 回都市の定義、都市が存在する理由、集積の経済と都市 第 4 回住宅地の土地利用分析について 第 5 回消費者行動の理論 第 6 回消費者の立地選択 第 7 回都市の空間的な大きさや規模 第 8 回市場メカニズムと経済政策について、土地と住宅、交通		
単位取得要件			
授業外の子習復習方法			
教材等	1. 『都市経済学』、高橋孝明 著、有斐閣ブックス、2012 年		
オフィスアワー			
学生への要望			

授業科目名	世界経済史入門		
科目番号	BB41501	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1 - 4 年次	時間割	春 AB 木 5,6
担当教員	田中 洋子		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	現在の資本主義経済システムは、歴史的にいかなる形で生成・展開してきたか。工業化やグローバル経済の発展はどのように進み、それは社会や私たちの暮らしに何をもたらしてきたか。こうした問題について、経済発展のさまざまな歴史理論を通じて認識を深めていくことを目標とする。これを通じて、現在私たちが置かれている日常生活の中にひそんでいる、大きな世界経済の歴史的・国際的連関をより深く理解し、世界と自分との位置を客観的に認識できるようにする。		
授業の進行予定	<p>授業は二時限連続の講義とする。講義につづいて 6 限途中から、授業での問題意識や歴史認識をより深めるために、授業テーマに関連した映画を上映するので、映画を最後までみるために 6 限以降も時間をとっておくことが望ましい。</p> <p>第 1 回グローバル経済の現時点 第 2 回商品化と共同体 第 3 回近代化論と従属理論 第 4 回世界システム論とその限界 第 5 回産業資本主義論 第 6 回階級社会論 第 7 回共産主義経済論 第 8 回資本主義対資本主義 第 9 回国家と市場 第 10 回多国籍企業とグローバル化</p>		
単位取得要件	学期末筆記試験 (7 割)、出席点 (3 割)。映画感想文で加点の可能性あり。出席は原則 6 割以上必要。		
授業外の予習復習方法			
教材等			
オフィスアワー	相談についてはメールにてアポイントメントをとってください。 スケジュールや映画感想などについては、TA の人に連絡をとって聞くこと。 tanaka.yoko.ft at u.tsukuba.ac.jp http://member.social.tsukuba.ac.jp/tanaka/		
学生への要望	積極的な参加。		

授業科目名	財政学		
科目番号	BB41521	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 金 1,2
担当教員	桃田 朗		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	財政制度、公債と財政赤字、公共支出、租税、社会保障といった「財政学」の基本テーマを講義する。ミクロ・マクロ経済学の基礎を習得した学生を前提とする。新聞やテレビニュースなどで報道されている現代日本における財政問題を理解できるレベルに到達することが本講義の教育目標である。		
授業の進行予定	第 1 週 財政の役割 第 2 週 日本の財政制度 I 第 3 週 日本の財政制度 II 日本の財政赤字と財政の維持可能性 I 第 4 週 日本の財政赤字と財政の維持可能性 II 第 5 週 日本の財政赤字と財政の維持可能性 III 第 6 週 公共財の理論 第 7 週 租税の理論 I 第 8 週 租税の理論 II 第 9 週 社会保障の財政問題 I 第 10 週 社会保障の財政問題 II		
単位取得要件	持ち込み不可能な期末試験による。		
授業外の予習復習方法	受講者の理解度に応じ、授業中に指示する。		
教材等	1. 林 宜嗣 「基礎コース 財政学 第 3 版」新世社 2011		
オフィスアワー	momotaro at sk.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	成績は試験により評価するが、授業への取り組みを加味することもある。		

授業科目名	Economic History		
科目番号	BB41541	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 火 3; 秋 AB 木 4
担当教員	高橋 秀直		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	Focus on acquiring of historical thinking skills.		
授業の進行予定	Topic 1:What is economic history?, Topic 2:First wave of globalization in the late 19th century, Topic 3: Comparative study of globalization and interaction of markets, Topic 4:Modern economic growth, Topic 5:Comparative study of modern economic growth		
単位取得要件	Exams(50%) and Presentations(50%)		
授業外の予習復習方法	Prepare for each coursework to interpret the meaning of technical terms and vocabularies.		
教材等	K.G.Persson, An Economic History of Europe,Cambridge U.P.,2010.		
オフィスアワー	TBA		
学生への要望	Students will be expected to hold basic knowledge of economics.		

授業科目名	国際貿易論		
科目番号	BB41601	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 火 3,4
担当教員	内藤 久裕		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	To be able to understand the basic mechanism of international trade, Hechscher-Ohlin model, trade policy, international oligostic market, immigration and international investment.		
授業の進行予定	第 1 回 Gains from Trade 第 2 回 Ricardian Model 第 3 回 Specific Factor Model 第 4 回 H-O model (1) 第 5 回 H-O model(2) 第 6 回 Immigration 第 7 回 International Investment and Policy Issues 第 8 回 Trade Policy 第 9 回 Oligopoly Model 第 10 回 Conclusions		
単位取得要件	Home Works (30%) and Final Exam(70%)		
授業外の子習復習方法			
教材等	1. Krugman, Obstfeld and Melitz, International Economics, Theory and Policy		
オフィスアワー	Thursday 1:00PM-2:00PM		
学生への要望			

授業科目名	経済学入門演習 I-1		
科目番号	BB41742	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1 - 3 年次	時間割	春 AB 金 3,4
担当教員	福住 多一		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	ミクロ経済学・マクロ経済学の基本に関して、問題演習を通して理解を深めます。		
授業の進行予定	毎回、基本事項の確認 問題演習 解答・解説という授業形式です。 各回の詳細な内容は、初回に伝えます。		
単位取得要件	出席 + 試験		
授業外の予習復習方法			
教材等	テキストは指定しません。 問題のプリントを配布する予定です。		
オフィスアワー			
学生への要望			

授業科目名	経済学入門演習 II-1		
科目番号	BB41762	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1 - 3 年次	時間割	秋 AB 火 4,5
担当教員	高橋 秀直		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	経済史とその理解に必要な経済学の説明を行う。		
授業の進行予定	経済学的な知識が必要であるため、授業中に適宜説明を補う。 講義の進行方法の指示を伝えるので、初回には必ず参加すること。		
単位取得要件	宿題、中間試験および期末試験。		
授業外の予習復習方法			
教材等			
オフィスアワー			
学生への要望	経済学科目、経済統計科目の履修を強く勧める。		

授業科目名	外国語経済書講読 II-2(英語)		
科目番号	BB42222	単位数	2.0 単位
標準履修年次	3 年次	時間割	春 AB 水 5,6
担当教員	高橋 秀直		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	本講義では、最近の社会経済問題を経済学的に分析した英文記事を読む。		
授業の進行予定	経済学的な知識が必要であるため、授業中に適宜説明を補う。 講義の進行方法の指示を伝えるので、初回には必ず参加すること。		
単位取得要件	小テスト、中間試験および期末試験。		
授業外の予習復習方法			
教材等	教科書及び参考文献は初回時に指示する。		
オフィスアワー			
学生への要望	経済学科目、経済統計科目の履修を強く勧める。		

授業科目名	外国語経済書講読 III-2(英語)		
科目番号	BB42322	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2・3 年次	時間割	春 AB 火 4,5
担当教員	仲 重人		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	原著で読むことの面白さ、まだ翻訳されていない興味深い論文などを先取りして読むことの面白さを体験することが一つの目標です。また、英語の教材を読むことで専門用語を学ぶことも目標です。公共経済学及び公共選択論に係る古典的ないしは興味深いトピックを英語で勉強します。		
授業の進行予定	原則的に、比較的容易な古典的な文献や教材、あるいは最新のトピックを紹介するつもりですが、クラスの構成を見てから決定します。 ・経済学の基本的概念と関連した専門用語を英語で学びます。		
単位取得要件	複数のテストと課題の提出、あるいは発表により成績が決まり、その成績により単位の取得の有無が決まります。		
授業外の予習復習方法			
教材等			
オフィスアワー	適時アポイントメントにより設定します。		
学生への要望			

授業科目名	経済学演習 II-2		
科目番号	BB43222	単位数	4.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 AB 秋 BC 月 3,4
担当教員	篠塚 友一		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	意思決定理論の基礎を学ぶ。		
授業の進行予定	第 1 回自己紹介と輪読の割り振り、ゼミの運営について話し合う。		
単位取得要件	病気や忌引きを除き毎回出席が義務。病気や忌引きの場合、出来る限り早くメールで欠席を知らせること。報告者の発表に関して積極的に質問すること。判らないことが何かを明らかにすることが最も重要である。		
授業外の予習復習方法	意思決定理論を深く学ぶには確率論など関連する数学の勉強をするのが望ましい。参加者のニーズに合わせて参考文献を紹介する。		
教材等	Ken Binmore, Rational Decisions, Princeton University Press, 2009.		
オフィスアワー			
学生への要望	期待効用理論に興味を持つ学生の参加を歓迎する。		

授業科目名	経済学演習 V-2		
科目番号	BB43252	単位数	4.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 AB 火 4,5; 秋 C 火・木 4,5
担当教員	平沢 照雄		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	日本経済の現状、経営改革や地域経済の活性化といったテーマをとりあげ、日本経済・地域経済に関して共に学ぶ。日本経済や日本企業、地域経済に関心や興味がある学生の積極的な参加を歓迎する。		
授業の進行予定	(1) 日本企業や日本経済あるいは地域経済を扱った基礎的な文献あるいは最近話題になった文献を取り上げ輪読する、(2) 実際に工場に出かけて「もの作り」の現場を見学し、企業経営者の話を聞く、(3) 地域経済・地域認識に関するアンケートを実施したうえで、その結果について皆で検討する、という3つを主な内容とする。		
単位取得要件	演習への参加態度、発表、提出レポートの内容によって総合的に評価する。		
授業外の予習復習方法	輪読するテキストを予め読み、疑問点・論点などを整理して授業に参加してください。またテキストだけでなく、扱うテーマに関連する文献や情報についても参照、収集し、ゼミで積極的に発言できるように準備してください。		
教材等	取り上げるテキストに関しては、春・秋学期とも第1回目の授業で決定する。ひろく現代企業や現代経済、地域経済をあつかった文献でも日本企業や日本経済を考えるうえで役立つものであればテキストとして取り上げる予定である。		
オフィスアワー			
学生への要望	本演習の後半(秋C)は火と木となりますので、この点に注意してください。また受講希望者は、両学期とも第1回目の授業の際に、ゼミの進行に関する留意点等を提示するので必ず出席してください。		

授業科目名	経済学演習 VI-2		
科目番号	BB43262	単位数	4.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 AB 金 2; 秋 ABC 金 2,3
担当教員	平山 朝治		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	自分の問題意識に即して研究テーマを見出し、調べ、考えたことを口頭や文章で表現し、議論する技術を磨くことを目標とする。		
授業の進行予定	テキスト輪読と自由研究を適当に混ぜながら、進める。 自由研究については、3 年次生は年度末レポート (400 字 × 20 枚程度)、 卒業予定者は卒論 (≠ 切に間に合わなかった場合、ゼミ論) にまとめる。		
単位取得要件	出席、発表、レポート等		
授業外の予習復習方法			
教材等	1. 大田一廣ほか編著『新版 経済思想史 社会認識の諸類型』名古屋大学出版会、2006 年		
オフィスアワー	授業終了後または予約		
学生への要望	卒論提出に向けて努力してほしい。		

授業科目名	経済学演習 VII-2		
科目番号	BB43272	単位数	4.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 AB 秋 AB 金 5,6
担当教員	福住 多一		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	<p>目標:ゲーム理論を用いて人の経済的行動の特徴について探求する。</p> <p>概要:基礎的な理論の学習。実験実施。実験データの分析結果のプレゼン。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、経済学演習 VII 1 を履修していない学生は、ゲーム理論の基本を輪読形式で学習し、実験のサポートをする。 ・昨年度、経済学演習 VII 1 を履修済みの学生は、上記の学生の学習サポートと、実験実施・データ分析・結果プレゼンをする。 		
授業の進行予定	<p>春学期:テキスト輪読, 実験準備</p> <p>秋学期:テキスト輪読, 実験実施と結果プレゼン</p>		
単位取得要件	出席 + 報告		
授業外の予習復習方法			
教材等	授業中に指示する。		
オフィスアワー	木曜 4 人文社会学系棟 A315		
学生への要望			

授業科目名	経済学演習 VIII-2		
科目番号	BB43282	単位数	4.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 AB 秋 AB 木 4,5
担当教員	仲 重人		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	経済学の一分野である公共経済学あるいは公共選択論におけるより深い議論や論争を勉強することで、経済学についてより深い理解と知識を得ることが目標です。この演習では、公共経済学あるいは公共選択論における最新の議論や論争を一緒に勉強していきます。		
授業の進行予定	具体的な内容は、クラスの規模や学生の構成によって変わります。原則的には、公共経済学における市場の失敗についての古典的な議論、新しい議論、さらに批判的な議論を勉強し、その後で、政府の失敗についての議論にかかわる興味深い議論を勉強します。 ・市場における効率的資源配分の議論から復習していきます。		
単位取得要件	クラスの規模や構成によって要件が変わります。人数が多い場合には、複数のテストとレポートで成績が決まります。人数が少ない場合には、複数のテスト、レポートの作成、及び発表によって成績が決まります。		
授業外の予習復習方法	配布資料をとにかくよく読みこんでくること。		
教材等	随時、決めていきます。		
オフィスアワー			
学生への要望			

授業科目名	経済学演習 X-2		
科目番号	BB44202	単位数	4.0単位
標準履修年次	3・4年次	時間割	春 AB秋 AB月 5, 6
担当教員	箕輪真理		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	開発経済学に関する文献（英語）を読み、開発途上国において課題となっている諸問題について理解を深める。開発途上国の事情を紹介したビデオなども使って、「開発」についての、より幅広い知識と理解を得ることを目指す。		
授業の進行予定	文献は、経済開発について書かれた書籍、あるいは研究論文を、初回の授業でいくつか提示し、履修学生の興味を考慮して決定する予定。文献はすべて英語になる予定です。以降の演習では、学生がそれぞれ担当した文献の内容をレジュメにまとめ、発表し、ディスカッションのテーマとなる課題を提示する。文献の内容を単にレジュメにまとめてそれを読むだけではなく、「プレゼンテーション」として、聴衆に効果的に内容を伝えることも意識できるようにトレーニングしましょう。		
単位取得要件	発表とレポート。ディスカッションへの積極的な参加を評価する。		
授業外の予習復習方法	担当する文献を十分に理解してまとめ、クラス参加者の興味を引き出すような発表をするように準備すること。		
教材等	授業第一回目に提示する。		
オフィスアワー	メールにてアポイント。随時。 minowa.mari.ge at u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	学生の皆さんには、受身でない勉学姿勢を期待します。		